

Green Concert

2006年5月3日 松明堂音楽ホール 午後2時30分開演

1] 五十嵐 春香 (19世紀ギター)

- ・練習曲 op.60-5 F.ソル
- ・練習曲 op.60-13 M.カルカッシ

2] 朝倉 靖雄 (バロックリュート)

- ・シャコンヌ (g-moll) S.L.ヴァイス

3] 西野 辰子 (バロックリュート)

- ・Allemande / Courante / Gigue デュフォー

4] 岡田 紀世史 (バロックリュート)

- ・プレリュード C.ムトン
- ・シャコンヌ ドウ・ピュ

5] 伊佐坂 則彦 (ルネサンスリュート)

- ・Preludium J. ダウランド
- ・Fantasia 作者不詳

いろいろなタイプの曲を作曲しているダウランドですが、プレリュードはなぜかこの1曲だけとなっています。ファンタジアは、大英博物館所蔵のHirsch M1353という写本に含まれている曲です。作曲者名ばかりでなく曲名も記載されていません。ファンタジアという曲名は、内容から仮につけたものです。

【休憩】

6] 友松 三砂子 (Flûte traversière)

友松 雅英 (Flûte traversière)

渡辺 マリ (Viola)

矢澤 勝之 (Luth)

- ・La Sultanne (スルタン) F.クーブラン

François Couperin (1668 ~ 1733) はフランス・バロック音楽を代表する大作曲家。様々な分野の音楽を残しています。

La Sultanneのオリジナルの楽器編成は「高音の楽器2台、Viola 2台、通奏低音」となっていますが、今回は「トラヴェルソ2本、ガンバ、リュート」で演奏します。音楽は大きく6つの部分から出来ています。

二短調2/2 二短調4/4 Air Tandrement 二短調・二長調3/4 二長調2/2 Legerment 二長調4/4 二長調6/4

7] 小松 俊二 (ルネサンスリュート)

- ・Recercare F.スピナツィーノ

- ・Se L'aura Spira G.フレスコバルディ
- ・Tu Disois Que J'en Mourroyes C.ドウ・セルミジ~F.ダ・ミラノ
- ・Saltarello Chiamato Antonola P.P.パローノ~G.A.カステリオーノ

「トリノ・オリンピックを記念し(?)イタリア4点セットにしました。導入のリチェルカーレ、歌曲からそよ風吹けば はリューティストの佐藤亜紀子さんが編曲されたものを基に調を変えました。風が吹くとバラが咲き、生物たちが生き生きしてくる。3曲目も元は多数のシャンソンを残したセルミジの曲です。タイトルは真っ青ですが、ダ・ミラノによる繰り返される対位的テーマが気に入り初挑戦します。最後のサルタレロ(跳躍するという意味。)は2拍子と3拍子が交差する軽快な舞曲。金メダルとは言いません。予選通過が目標です。」

8] 中山 早苗 (ルネサンスリュート)

- ・Ballet-Troisième Chant / Ballet des Contre-Faits d'Amour-Premier & Second Chant / Entrée-Troisième Chant / Courante de la Reyne-Second Chant R.バラール

9] 五十嵐 正明 (ルネサンスリュート)

- ・リチェルカーレ ダ・ミラノ
- ・ファンタジア S.モリナロ
- ・Come Away / Orlando Sleepeth / Lachrimae J. ダウランド

10] リトル・リトル・コンソート (LLC)

村上 百合 (リコーダー)

菅 朋子 (ルネサンスリュート)

- ・ラグタイム・ダンス S.ジョブリン
- ・グリーン・スリープスによる変奏曲 作者不詳

「ラグタイム・ダンス」の作曲者スコット・ジョブリンは1868年に生まれたアメリカのジャズピアニストで、ラグタイムの創始者として有名です。その中から1曲。私達がデュオを始めた当時リコーダーとリュートの為の曲など無いに等しく、ほとんど手探りの状態で曲作りをしていきました。そのごく初期のレパートリーからのものです。

「グリーン・スリープス」は有名なテーマに15の変奏がついたもので、リコーダーやリュートをされる方は一度は演奏した事があるのではないのでしょうか。